

大野市【デジタル技術を活用した道路損傷状況の把握効率化】

(1) 地域課題分野

[] ①交通、 [] ②防災、 [] ③環境、 [] ④健康福祉、 [] ⑤産業、 [] ⑥農林水産、 [] ⑦教育、 [] ⑧行政、 [] ⑨観光・文化、 [] ⑩その他

(2) 課題

- ・道路のメンテナンス計画策定に資する損傷状況の把握に負担がかかっている。
- ・デジタル技術を活用することで、損傷状況を効率的に把握し、効果的なメンテナンス計画を策定したい。

(3) 現状

- ・大野市は、県下で最大の豪雪地であるため、他市町に比べ道路の損傷（ポットホール、ひび割れ、白線劣化）の進行が早く、管理エリアも広い（福井県面積の約1/5）。また、至近年では、中部縦貫自動車道の整備工事に伴う大型車両の交通量増により、損傷が更に進行している。
- ・限られた人員と予算で対応しているが、将来的な労働人口減少への対応も見据え、更なる効率化が求められている。

(4) ステークホルダー

関係者・団体、関係市町・部署等	役割・立場
県・他市町	<ul style="list-style-type: none">・損傷状況の効率的な把握は、道路管理部門の共通ニーズであるため、他の自治体も同様の考えと史料。 （特に至近年では、北陸新幹線の延伸工事に伴う大型車両の交通量増により、県内の道路損傷が進行している背景も考慮）・実証フィールドの提供や、U I 開発時の意見照会先としての協力が期待できる。

(5) 地域課題解決の糸口

- ・スマートフォンなどの汎用カメラで撮影した道路画像から、ひび割れ等を検出するA I 等を活用し、損傷状況の把握を効率化。
- ・また、検出結果を地図情報に連携することで、全路線の劣化状況の分布把握や路線間の相対比較により、効果的なメンテナンス計画を策定できないか。

(6) 提供可能な資産・データ

・道路管理台帳（施設年や幅員、メンテナンス履歴などの基本データ）の提供 ・実証フィールドの提供 ・ユーザー目線で使い勝手の良いU I 開発への意見出し